



信頼・団結・前進

＝新たな時代にさらなる挑戦＝

くまもと

発行 九州旅客鉄道労働組合
熊本地方本部

熊本市中央区南熊本3丁目14番1号

電話 NTT 096 - 373 - 8911

JR 094 - 2345

発行責任者 濱田 享二

編集責任者 井手 正成

教育広報部

地本第 29 回定期大会

新たな時代へ さらに前進を

規模は縮小したが熱心な議論が交わされた大会会場（8月2日）



熊本地本は、8月2日、熊本市「ネストホテル熊本」で第29回定期大会を開催しました。新型コロナウイルス感染症の拡大や7月豪雨による被害の爪痕が残るなど、私たちは大変厳しい環境に置かれています。課題の前進と運動の継承、労働組合として雇用を守り抜くことに全力で取り組むなど、新たな運動方針を全体で確認しました。

新型コロナウイルスで出席者を減らして開催

本大会は、新型コロナウイルス感染症の防止に配慮しながら開催することとし、出席する代議員を削減して行われました。執行部を代表して挨拶に立った濱田享二執行委員長は、依然収束が見通せない

新型コロナウイルス感染症や豪雨災害の対応で奮闘する組合員に敬意を表したうえで、「安全の確立」「政策の実現」「政治活動」の3点について所信を述べました。とりわけ、来年2月に予定される大津町議選での必勝にむけた取り組みを強く要請しました。

当日は来賓として、長田 英二・交運共済熊本事業部

10人の代議員が発言、運動方針を補強

議事では、執行部が提案した経過報告及び運動方針案に対して、10人の代議員が新型コロナウイルス感染症や豪雨災害への対応をはじめ、期末手当の支給、2021春季生活闘争、今後のJR九州労組を担う若手組合員の育成などについて発言し、方針を補強しました。執行部からの答弁を経て、すべての議案を満場一致で承認し、新たな時代へ

の想いを込めた団結ガンバローで閉会しました。熊本地本は、第29回定期大会で決定した運動方針に基づき、今後の諸活動に取り組んでいく所存です。また、新型コロナウイルス感染症の拡大防止や豪雨災害からの一日も早い復旧・復興などの課題に対し、労働組合の助け合いの精神を発揮して具体的な行動につなげていきます。

代議員の主な発言（順不同）

- ・豪雨災害による業務量増大とお客様周知に課題
- ・豊肥本線全線開通にむけた取り組みに感謝する
- ・肥薩線の復旧にむけた地本の取り組みを求める
- ・新型コロナウイルスへの対処方針を明らかにするべき
- ・豪雨災害後の復旧や転勤等の情報提供を求める
- ・若手組合員の育成と強化に取り組んで欲しい
- ・高齢者の「同一労働同一賃金」で処遇改善を
- ・豊肥本線熊本・阿蘇間の直通列車増発を求める
- ・熊本駅乗務員乗継詰所の拡充と喫煙所の整備を
- ・緊急自動車の運転や車両添乗に対する手当新設
- ・都市手当の早急な見直しを求める
- ・期末手当交渉及び春闘交渉で社員の負担軽減を
- ・駅での地域社員の泊まり勤務に反対するべき
- ・「旅行の窓口」縮小に歯止めかける取り組みを
- ・新型コロナウイルスに対する組合活動の指針策定を求める
- ・125形気動車の前部標識LED化を求める
- ・24時間を超える運転士行路の削減を求める
- ・博多駅乗務員乗継詰所の3密対策を進めるべき
- ・大津町議選への対応

JR九州労組「年金共済」
新規加入・口数変更
受け付けます！

安心の老後を過ごすための自助努力の一環として、是非この機会に加入のご検討を！

資料や申込書は、地本または分会役員までお問合せください。



手洗い！
距離！
換気！

